

講義名	卒業研究				
講義コード	24401	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 火曜日 4時限
担当教員	丸山 亜希子		シラバス・コード	SEM440	

学部・学科	演習分野
経済学部経済学科・経済情報学科	丸山亜希子ゼミナール（労働経済学）

概要説明
<p>労働経済学は労働・雇用問題、結婚、離婚、出産の意思決定など、家族問題やそれにまつわる政策・制度を扱います。最近のマスコミの記事等であれば、雇用問題、女性労働（ワークライフバランス）、婚活（結婚活動）、少子化問題や、子供の教育費なども労働経済学で扱うトピックスになります。このゼミでは、労働経済学の諸トピックスを旨で本を読みながら考えていきます。また、時事問題についても経済学的視点から考えることもしたいと思います。このほか、就職活動の際の話題にもなると思いますので、1-1グランプリなど、学内の社会共創プログラムに参加する場合があります。社会共創活動プログラムに参加する際は、ゼミ生全員に活動に取り組んで頂きます。この件をご了承の上、ゼミにお申し込み下さい</p> <p>○このゼミの目標○  ・経済学の考え方を身に付け、労働経済学のトピックスについて深く理解することができる。  ・文献を丁寧に読むことを通じて、論理的思考ができるようになる。  ・プレゼンテーション能力を高めることができる。  ・時事問題を日ごろからフォローする癖がつくようになる。</p> <p>○研究演習 ○  2年次には、労働経済についての基礎的な知識を学びます。テキストに沿って内容の要約を発表してもらいます（1人持ち時間40分（質疑応答含む））。教員になったつもりで、他の学生さんにわかりやすく内容を解説して下さい。このため、発表が当たっている日までの宿題として、テキストの要約作業とわかりやすいプレゼン資料の作成が課されます。準備不足の場合には、減点とともに次週にやり直しをしてもらう場合があります。</p> <p>また、発表者以外の人も、しなければならぬことがあります。ゼミではみなさんに発言し、ディスカッション（議論）してもらうことも重視しているため、発表者でない人も必ずテキストの予習をした上で、各回1人1回の発言を義務付けています（発言しない場合、減点あり）。期末には期末レポートを提出してもらいます。</p> <p>○研究演習 ○  3年次の前期では、2年次に引き続き個別発表によるテキストの輪読・課題を行い、夏休みに各自の卒業論文のテーマを自分で見つけてもらう課題を出します。教員から卒業論文テーマを与えることはありませんので（経済学分野の慣例からです）、日頃から新聞などを読み、問題意識を持つようにして、テーマを決めて下さい。</p> <p>3年次後期からは、それまでに決めてもらった卒論テーマについて、ゼミの時間以外に各自、経済学的な視点に基づいた分析を行ってもらい、ゼミの時間にその経過報告を発表してもらう形式をとりまます。また、夏休み終了時と後期末にレポート課題を提出して頂きます。</p> <p>○卒業研究○  4年次は、3年次後期と同様、引き続き卒論のテーマについての分析発表と、論文執筆を行ってもらいます。（4年次「卒業研究」では、卒論を提出しなければ単位付与できませんのでご注意ください。）</p>

主な卒業論文のタイトル
「日本の医療費政策の現状と国際比較による分析と課題」 「動物愛護の改善」など

教員からの要望
<p>以下の事を求めます。</p> <p>(1) 課題に丁寧に取り組む： 上記のように、ゼミでの発表機会が多いですが、その都度、予習や宿題（テキスト要約や発表準備）をしっかりと行うことが求められます。</p> <p>(2) 情報収集： 日ごろから新聞などを読み、時事問題なども常にフォローする必要もあります。</p> <p>(3) 積極性・思考力・研究に対する努力： 卒業論文の執筆では、自ら研究テーマを見つけ・分析する積極性と思考力、努力を求めます。</p> <p>(4) 他者との協力： 1-1グランプリなど、社会共創活動に参加する際、グループワーク力が求められます。他の学生と協力しあう意欲や力が求められます。</p>

選考方法
<p>(1) 研究演習 の申込みの場合  個別ガイダンス参加時の会話内容と、提出書類の内容（志望動機、どのようなテーマを勉強したいのか、日ごろの活動状況など）により選考します。熱意を持って書類を記入してください。  また、ゼミの申込み時、演習申込書に成績表（コピー可）を必ず添付してください。</p> <p>(2) 研究演習 で他のゼミから当ゼミへ移籍を希望する場合  課題レポートを提出してもらい、判断します。事前にメールで連絡を下さい。</p>

評価方法
<p>口頭発表の内容、提出課題、ゼミへの貢献度、授業態度によって総合的に評価します。</p> <p>正当な理由のある・なしに関わらず、授業回数の1/3以上を欠席した場合、成績評価は「放棄」となります。正当な理由のない無断遅刻も、目に余る場合は欠席扱いとします。</p> <p>このほか、授業態度が酷いと教員が判断した場合、ゼミへの参加資格を失うことがあります。</p>

教員英字氏名	研究室
Maruyama Akiko	研究棟 2713研究室

最終学歴
関西学院大学大学院 経済学研究科 博士課程後期課程

学位
博士（経済学）

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>主な研究テーマ  長期のパートナー探し行動（結婚相手探し行動、職探し行動）、少子化</p>

主要業績
<p>* "Influence of over-and underconfidence on a marriage market," Japanese Economic Review, Vol. 64(2), pp. 276-294, 2013.</p> <p>* "Variety expansion and fertility rates," (with Kazuhiro Yamamoto), Journal of Population Economics, Vol. 23(1), pages 57-71, 2010.</p> <p>* "On the coexistence of reciprocity and materialism," Economics Bulletin, vol. 3(59), pages 1-9, 2007.</p>

趣味・特技
料理のコツを学ぶのが好きで、料理番組や料理本をよく見ています。ただ、実際に料理をするのは好きではないので、あまりしません。

所属
経済学部 経済学科

所属学会
日本経済学会、Econometric Society

専門分野
応用ミクロ経済学、労働経済学、人口経済学

担当科目
労働経済論、地域経済論、研究演習II、卒業研究

備考

実務経験の有無及び活用
実務経験なし